

1 参加者 学校運営協議会委員 6名, 校長, 学校事務局 6名

2 報告概要

① 平成30年度学校経営計画 進捗状況

(1) 概要説明

《進路指導の確立》

食堂での自学自習指導、「生活と学習の記録」(3点固定・3点チェック)、教科担当者面談、センター出願56%(年々増加)

《学力・授業力関係》

食堂の自習利用啓発、冊子「論理力」を用いた1年生での取組み、主体的・対話的で深い学びを教員に意識させています。年2回 春秋での授業研修、教員の意識的な取組みの結果、授業アンケートでの各指標が伸びています。

《人間性の育成：人権教育・生徒指導・部活動・海外研修等》

遅刻は76件増加(昨年比)しました。部活加入率は80%、2年生での退部者が出ています。

海外研修は今夏、20名がオーストラリアのパスでホームステイ(1家庭に生徒1名)し、交流や学習を行いました。

《校務効率化・職場環境改善》

6分掌1委員会を2つの室—学校運営室、生徒支援室の所属に分け、2名の首席がそれぞれの室長として統括する形にしました。この体制によりタテとヨコの連携を進めています。

《ホームページ》

本年度中にホームページのリニューアルを予定し、次年度から運用予定です。

(2) 各分野の説明

《Vision 検討会》

学校経営計画をいかに意識的に共有し、教職員のベクトルを合わせるかが課題です。

そのために何をすべきかを経営委員会や職員会議後の「Vision 検討会」等で検討してきた結果、基礎学力を充実させ、豊かな人間性を育むため、具体的には、①声を出しての挨拶 ②日々の授業を大切にするための7項目*を提示し、全教職員で実践する確認を進めています。

7項目*：①授業の開始と終了は明確か ②「本時のめあて」を明確に示しているか ③「私語」はないか ④机にその授業で必要なもの以外は出ていないか ⑤授業開始時に着席させられているか ⑥寝ている生徒は何人いるか ⑦遅刻者の指導は徹底されているか

《学校教育自己診断》

今年度も11月に昨年度と同じ設問で実施しています。次回の運営協議会で結果をお知らせできると思います。

《進路指導：「生活と学習の記録」(3点固定・3点チェック)》

3点(起床時刻・自宅学習開始時刻・就寝時刻)を毎日同じにする指導を今年も1年生の1学期に実施しました。

アンケート結果では、昨年度とさほど変化はありませんでした。昨年度と比較すると、「全くできない」・「良くできている」が減少しています。

「この取組みを実施しているので、家庭学習を意識できた」という生徒もいます。「3点固定はめんどくさい」をいかに改善するかが今後の課題だと思います。

《教科担任による「進路相談」(教科担当者面談)》

6月に3年生、7月に1, 2年生を対象に実施しました。①進路や科目選択、勉強法質問等で面談を希望する ②スタディサポートの結果より抽出 の2本立てで生徒が進路に関する相談を授業担当者に出来るよう設定し、実施しました。現在は1, 2年生対象に秋季の教科担当者面談を実施中です。

《授業アンケート》

7月に今年度第1回目の授業アンケートを実施しました。少しずつですが各項目の肯定的回答が、毎年増加しています。授業担当者が各自の授業でアンケート結果に関し、生徒にコメント等を行い、必要な改善につなげています。

学校としての課題・改善方向は、各教科・学年で出し合い、それを基に現在、経営委員会等で検討中です。

《授業研修》

以前は教科内で実施していましたが、この数年は他教科の授業を見学し、「自分とは異なる別の切り口」—実験で生徒を注視する必要性・生徒への指導の仕方・“主体的で深い学びの仕組み”などを学ぶというコンセプトで実施してきました。

《「いじめ」関係》

今夏、大阪府いじめ防止基本方針の改訂に伴い、「大阪府立刀根山高等学校いじめ防止基本方針」を改訂しました。

1学期に生徒対象アンケートを実施し、そこからはいじめ事象は認められませんでした。必要に応じ、いじめ防止委員会を開催し、必要な情報収集とその共有・共通理解・見守り等に関し、確認しています。

《部活動》

今年度5月現在の部活動加入率は約80%です。昨年度より少し持ち直しました。1年女子は約95%、男子はそれより少ないです。残念ながら近年は途中退部の生徒が、増加傾向にあります。活発な部活動が多いので、顧問は負担もあります。今夏は体育館改修があり、他校や公設体育館利用で対応しました。

男子バレーボール部は近畿大会に出場しました。

週1回の「ノークラブデー」を昨年度より行っています。土日の休みも活動自粛を言われているので、今後具体的に検討していく予定です。

《教育課程》

来年度教育課程で、3年生に理型国語とアドバンスト・イングリッシュを作りました。

理型国語では、理系生徒にセンター試験対策の古典学習を行います。また、アドバンスト・イングリッシュにより、英語力に応じた英語科目の選択が出来るようにしました。

《生活指導》

担任から生活指導部へ生徒の言動に関する相談が増えています。これは本校での担任が初めてという教員が増えたことが影響しています。

3年生では、受験が目前となり遅刻、欠席が特に10月末より増加傾向にあります。メンタル面のサポートを含め、1・2年時よりさらに意識的に指導する必要があると思います。

スマホ指導では、「さらなる一歩」の指導を進める方向を検討中です。

外部からの指摘や苦情等に関し、必要に応じて生徒連絡や指導等を行っています。

《海外研修》

事後指導として文化祭で参加者が、テーマごとにグループとなり、海外研修での取り組みや調査結果を展示しました。

参加者の費用負担のことも勘案し、今後は外国の高校生に本校を訪問してもらい、交流することも考えていきます。

《自転車マナー》

ギリギリの時間に登校する生徒が多いため、刀根山公園から学校までの間で急いでスピードを出しているのが、危ないです。

ゆとりを持って早い目に登校してくるよう指導してまいります。

② 学校経営推進費事業：「刀根山・里山活用プロジェクト～人を育てる拠点として～」進捗状況

本プロジェクトでは3年計画で、多くの本校生が裏山の環境保全活動や防災活動などへの取組みを通して地域の人々や大学などとの交流を深め、その活動を通して様々な学問への興味や進路意識を高めることをめざしています。

生物エコ部が中心となって裏山を活用していますが、最終年度の今年度は、大学との連携講座や実習だけでなく、家庭科・生物・現代社会等の授業での活用が進みました。

今後は特別活動でも、さらに活用していきたいと考えています。

3 協議概要

《進学先》

- ・親元からの進学者が多いと思うのですが。

A：本人より保護者の方が「手放したくない」と思っておられます。大学へは行かせたい。しかし、経済的な理由等から、遠方よりも自宅から通わせたい、また生徒本人も自宅からの通学を希望しています。

毎日通うので、遠方を敬遠。キャンパスがきれいということも生徒は意識しています。また生徒の生活圏が小さくなってきていることも影響していると思います。

《裏山一斉清掃》

- ・12月の裏山一斉清掃に地域の関係者が参加することは可能ですか。

A：事前に連絡いただければ検討します。

《自転車通学・災害関係》

- ・刀根山小学校北門の信号は守って欲しいです。地域からもそのような声が出ています。
- ・地域と学校とが防災で連携する必要性が、大阪北部地震でますます現実化してきています。
- ・9月の台風では3日間も停電しました。復旧が遅かったです。学校は避難所となっているのに豊中市中でも特に復旧が遅かったのは、如何なものかと思えます。
- ・小学校へは、3名、十八中には9名の方が避難されました。地域では小学校で防災訓練を行っていたので、中学校では必要な物品の位置が分かりませんでした。

《地域連携》

- ・蛍の飼育はどうなっていますか。

A：校内で3種類を飼育しています。裏山でヒメボタルが繁殖することが目標の一つです。

地域では、蛍を放流する水路の状態が悪く、今年は放流できませんでした。ヘイケボタルだけが、今夏の酷暑に耐えました。

☆ 次回、第3回運営協議会開催は、1月末～2月始めで今後調整します。